

協議会による自給飼料生産拡大の取組

(山梨県：富士ヶ嶺酪農クラスター協議会)

取組項目

飼養管理	良質堆肥の生産	堆肥の広域流通	国産飼料生産・利用	有機畜産	その他(※)
			○		

(※) 畜産GAP、農場HACCP、労働環境の改善、消費者理解の醸成 等該当するものを記入

<取組主体について>

- 所在地：山梨県富士ヶ嶺地区
- 取組主体：富士ヶ嶺酪農クラスター協議会
- 構成員：県関係機関、クレイン農業協同組合(酪農家27戸)、山梨県酪農業協同組合(酪農家15戸)、等
- 乳牛飼養頭数：2,400頭
- 飼料作付面積：367ha(青刈りとうもろこし、ライ麦等)



青刈りトウモロコシの収穫作業

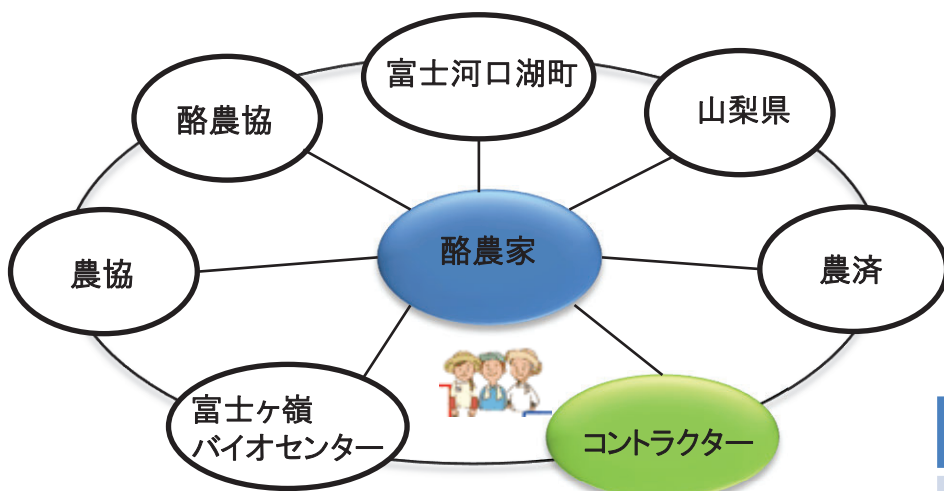
<取組について>

○ 概要

- 富士山の麓にある富士ヶ嶺地区は、県内最大の酪農地帯。冷涼な気候で雨・霧が多く、富士山の溶岩や火山灰などが堆積した溶岩地帯であるため、作土層が浅い等の制約により、寒地型牧草のリードカナリー等の牧草生産が主体であった。
- こうした中、平成24年当該地域にコントラクターが設立され、飼料生産作業の外部化により畜産経営の労働力不足を補うとともに、配合飼料価格の高騰等の背景も相まって、高栄養作物の飼料用とうもろこし等へ転換。

○ 成果

- 平成28年に酪農家やコントラクター等で組織する富士ヶ嶺酪農クラスター協議会を設立し、畜産クラスター事業を活用して自給飼料生産を拡大。
- コントラクターの活用及び飼料作物の作付拡大に意欲のある中心的な経営体の飼料調整機械導入等により、地域の粗飼料生産基盤の維持、拡大及び草地の生産性向上を図り、高品質な自給飼料を活用した飼料管理を実現。
- 令和2年には協議会の構成員であるコントラクターの受託作業面積が270.9haに拡大(平成27年当初137.5ha)。



○ コントラクター延べ受託面積(ha)推移

H27	H28	H29	H30	R1	R2
137.5	154.8	179.7	167.3	226.5	270.9